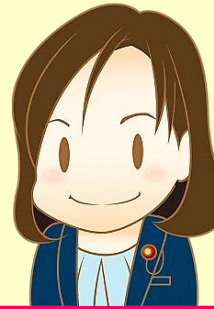


目黒区の元気!

目黒区議会議員

かなこ元気NEWS



議員全国初!

☞アプリをダウンロードしてスマホをかざせば動画が見られます! 詳しくは裏面下に!

平成 28 年 1 月 発行 発行:東京都目黒区目黒本町 5-27-17-403 電話・FA X03-6754-7733 発行人:目黒区議会議員 小林かなこ

Vol.2

小林かなこ 公式HP リニューアルオープン!

2016元旦!



ポイント

- 特にお伝えしたいことを「志」「政策」「後援」にまとめました。
- 「facebook」…日々の活動を写真と文章で。
- 「インスタグラム」…facebook に載せきれない写真を。
- 「ブログ」…お伝えしたいことを長めの文章と写真で。
- 「かなこチャンネル」…いろいろな動画をアップ!
- スマホ専用ページもあります!
- アドレス: <http://kobayashikanako.com/>

目黒区の元気 検索



- 平成27年9月の決算特別委員会で24問、生活福祉委員会で5問質問しました! 主な質疑応答の概要をご報告させていただきます。
- 「小林かなこ 公式 HP」の「活動」→「区議会議事録」に全文を載せていますので、是非ご覧下さい。

決算特別委員会



無電柱化の推進

- Q国は無電柱化のコスト削減のための実験を開始した。また、無電柱化推進に前向きな自治体の首長が首長連合をつくろうという動きもある。目黒区も今後無電柱化をより積極的に進めていくべき。
- A目黒区長も首長連合の発起人になった。首長連合を通じて国に予算措置もお願いしていきたい。

防災教育(小学生)

- Qジュニア防災検定は、小学生にも防災への興味を持ってもらい意識を高めるといふ点で、本当によい取り組み。区内の他の小学校にも広げるべき。
- A段階的に拡大する方向について検討する。

防災教育(中学生)

- Q荒川区のように、中学生に対してさらに積極的に防災教育に取り組むべき。
- A基礎体力が備わっている中学生のマンパワーは極めて重要で、災害時には欠かせない。中学生等が実践的な防災訓練に参加することは、非常に重要である。荒川区での取り組みなども参考にしながら、より積極的な防災教育の展開について検討する。

AED 訓練キット

- Q区が AED 訓練キットを購入し、地域における訓練に貸し出すなどすべき。
- A消防署の意見などを聞いて検討する。



生活福祉委員会

下目黒福祉工房の設備改善

- Qお菓子製造作業の調理室を視察した。売上げがもっと一人一人の収入につながるように、利益を上げるためにも、もう少しゆとりのある、スペースを広げた作業室の整備が必要では。
- Aもっと作業がしやすい、効率上がるものにしていくことで、より売上げが上がる可能性があることは十分承知しているので検討する。



視察① ～認知症でも安心して暮らせるまちに～ H27.10.20



○生活福祉委員会で、富山県小矢部市役所を訪問しました。同市では、人口の約3割の方が高齢者のため、「認知症になっても安心して暮らせるまちづくり」をビジョンに掲げ、認知症の方やその家族を支える体制構築に取り組んでいます。



○この3本の柱のうち、私がもっとも感銘を受けたのは、「人づくり」の一環として実施されている、認知症サポーター養成「出前講座」でした。5人以上集まれば、地域、職域、学校、行政等どこでも開催されます。平成20年3月から今までに218回開催され、合計8498人の認知症サポーターが養成されました。



○認知症サポーター1万人の養成が目標とのこと。小矢部市の人口が約3万人ですから、市民の3人に1人が認知症サポーターとなります。

○行政と市民が一体で取り組むと、とても大きな力になることを実感させて頂きました。

視察② ～まち・ひと・しごと創生総合戦略～ 27.11.5

○目黒区総合戦略等調査特別委員会で、京都府京丹後市役所を訪問しました。平成26年末、政府は「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を閣議決定しました。同市は、高齢化が都市部以上に進み、人口の減少を上回る「労働力の減少」が生じていることから、役所側と市民が何度も協議を重ね、全国に先駆けて一から手作りで総合戦略を策定しました。以下の4つの視点で施策を実施することで、45年後には同市の人口が今より約1.7万人多い、約7.5万人になると展望しています。



人口流入の促進…しごとづくり・しごとの場づくり

若年層人口流出の抑制…半定住的な活動を可能に

若い世代の就労・結婚・子育て等の生活環境を快適に

高齢者層の健康長寿の一層の促進と市外からの移住促進

○そしてこの度、目黒区でも「目黒区まち・ひと・しごと総合戦略」の素案が出来ました。目黒区は、「目黒区人口ビジョン」において2040年に希望出生率1.5を達成するという目標で、人口の維持・増加に向けた取組みを推進します。

○目黒区の総合戦略は、この人口ビジョンも踏まえつつ具体的な施策の展開を図る5年間の計画となっています。目黒区公式ホームページ上で、1月22日までパブリックコメントを受け付けておりますので、ぜひご意見やご提案をお寄せください！



小林かなこ プロフィール

OS52.4.12生。山形県鶴岡市(湯田川)出身
 ○筑波大学卒業。米国教育団体に11年間勤務後、
 国会議員秘書となる。平成27年目黒区議会議員初当選
 ○7歳から始めた空手は三段・現役選手

<所属>

- ・日本空手協会目黒支部指導員
- ・目黒消防団第8分団
- ・日本会議世田谷目黒支部役員ほか

小林かなこ 公式HP

目黒区の元気

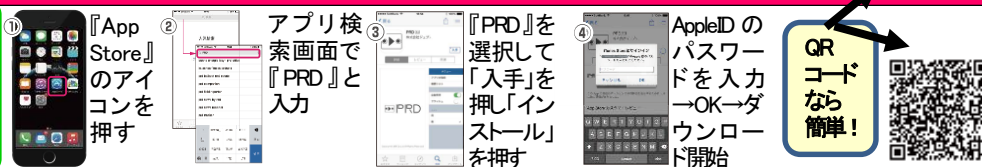
検索



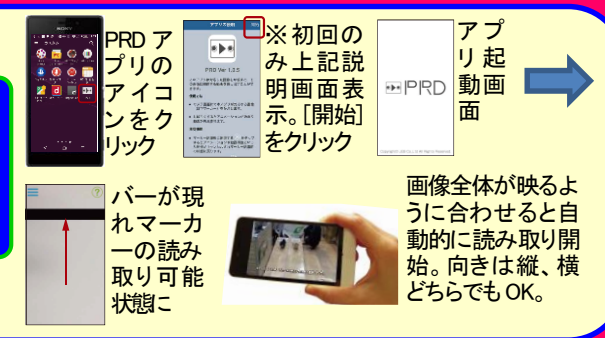
アンドロイド



아이폰



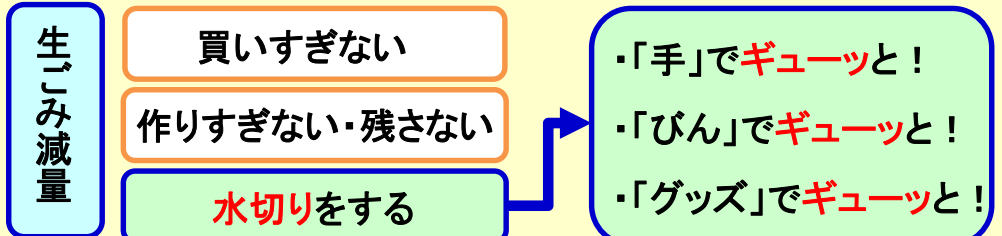
使用方法



ごみの減量

かなコラム

みなさん！ご存知でしたか？燃やすごみの中には、**生ごみが41.3%**、資源化できる**雑がみを含む古紙が16.7%**も含まれているんです。目黒区では、1人1日あたりごみの量を約100g減らして、リサイクル率を約32%に引き上げることを目標にする「目黒区一般廃棄物処理基本計画」が改定されます。上手に減量して「めぐろスマートライフ」を実践しましょう！(^o^)/



雑がみ	雑がみ
<ul style="list-style-type: none"> ◆ティッシュ箱(ビニール部分は除く)、お菓子・食品類の箱 ◆紙袋(紙以外の持ち手は除く) ◆包装紙、カレンダー(金具は除く) ◆封筒(窓部分がセロハンの場合を除く)、コピー用紙 ◆パンフレット・カタログ ◆学校のプリントなど 	<ul style="list-style-type: none"> ◆紙くず、使用後のティッシュ ◆シュレッダーくず ◆感熱紙(レシート、ファクス用紙)、写真、写真プリント用紙 ◆金・銀・アルミコーティングされた紙(お酒・ジュースの紙パックなど)、防水加工された紙(紙コップ、紙皿など)など

古紙回収に「紙袋に入れて」or「雑誌に挟んでひもで縛って」出す！

*古紙回収は、①新聞②段ボール③雑誌・本・雑がみを対象に、週1回地域の町会・自治会などが実施している「集団回収」により行われています(雨の日も回収)。